



令和3年11月号 Vol.48
情報メディア教育センター

「夕焼けがきれいだったら翌日は晴れ」

科学が発達していなかった頃、漁師や農家の人びとは自然現象や生物の動きを観察しながら天候を予想していました。このような天気予報の事を「観天望気」と言います。例えば、「蜘蛛の巣に朝露があると晴れ」、「うろこ雲が出ると雨」などなど。言い伝えのような根拠に乏しいものもありますが、現在の科学でも立派に証明されている予報もあります。

観天望気には地域特有のものもあります。みんなが住んでいるところにはどんな観天望気がありますか。調べてみると面白いかもしれませんね。



2 学年 ビブリオバトル Online 予選会

~~~~~ 染井 久代先生

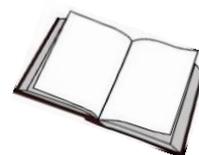


だんだんと秋も本番を迎え、読書にぴったりの季節になってきました。今回は読書の秋にお勧めの「ビブリオバトル」を紹介します。

ビブリオバトルとは、「バトル」という物騒な名前がついていますが、知的書評合戦とも言われます。楽しい本を持ち合って語り合いチャンプ本を決める、スポーツのようなコミュニケーションゲームです。これだけの単純なルールで遊べば、読書がスポーツに変わる！本が好きな人もそうでない人も、本を読むのが楽しくなる！いろんな本に巡り会えて、どんどん世界が広がる！これはやってみるしかない！

### 【公式ルール】

- 1、発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる
- 2、順番に一人5分間で本を紹介する
- 3、参加者全員でその発表に関する質問・ディスカッションを2～3分行う
- 4、最後に「どの本が一番読みたくなったか？」を投票し、『チャンプ本』を決める



今年3年制の2学年が夏休みに準備をして、2学期が始まったらクラスで予選会を行う予定でした。コロナ禍で休校になった中で、考えた末、総合コースはオンライン授業の期間に決行することにしました。この時間は生徒の発表が中心で、それぞれの自宅から順番に本を映しながら、自分なりの思いを届けてくれました。みんなは聞き入って採点したり感想を書いたりして楽しみました。人前で発表することの苦手な人には、プレッシャーも少なく、リラックスして話せたのではと思います。特進コースは、実際に対面授業の中で行い、チャンプ本を決定し、大いに盛り上がりました。

普段の姿からはあまり想像できないような本を紹介する生徒がいて驚いたり、同じ書籍の紹介でも人と違う部分に目を付けていたりして、面白かったです。全体としては、自分なりにお勧めするポイントを考えて、自分の言葉で相手に伝えられていたと感じます。友達の紹介を聞いていると、もっと知りたくなったり、その本を読みたくなったりします。それだけでも楽しいのですが、紹介してくれる友達の独特の感じ方に気づかされることもあるし、自分と同じ感じ方に共感できて、思わず嬉しくなってしまうときもあります。本を通して発表者の人となりに触れ、また改めて本の面白さに触れるという二重の楽しみがあります。「人を通して本を知る、本を通して人を知る」と言われるわけですね。次の機会には、実際に顔を合わせて、聞き合い、質問したり、突っ込んだりする楽しみも味わいたいです。



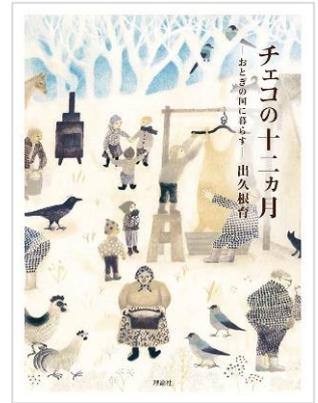
# 新着図書ピックアップ



## 『チェコの十二月ーおとぎの国に暮らす』

出久根 育【著】

チェコといえば、プラハ城、カレル橋、モルダウ川、フランツ・カフカ、スメタナ、ドヴォルザーク。。などが有名な東欧の国。おとぎの国というのも納得の非常に美しい建物や自然が広がっています。こちらの本は、チェコの伝統的な行事や景色、地域の特色や食べ物なども含め、季節の移り変わりを紹介しているエッセイです。また著者は絵本画家なので、時々出てくる絵も素敵です。歴史を大切にしていたり、日々の暮らしを丁寧に行っている人々の様子や素朴さなどが本から伝わってきます。もっとチェコの風景や写真を見たくくなりました。(大原)



## 『つげびの村ー噂が5人を殺したのか?』

高橋 ユキ【著】



「つげびして 煙り喜ぶ 田舎者」。2013年の夏、わずか12人が暮らす山口県の限界集落で一夜にして5人の村人が殺害された。犯人の家に貼られた川柳は「戦慄の犯行予告」として世間を騒がせたが…それらはすべて「くわさ話」にすぎなかった。本書は、ウェブサービス「note」にアップした記事を加筆修正し、書籍化したルポルタージュである。

「八つ墓村」でも読んでいような気分で読み進めると、中盤で突然気持ち悪い写真が続き、そう、これは「リアル」と思い知る。小説でない以上、名探偵が登場して鮮やかに解決とはいかない。もやもやした読後感。とはいえ、いわゆる事件ノンフィクションの定型にあてはめようとしない著者の姿勢には共感できる。ぜひあとがきまでしっかり読んでください。(津田)

## 『月に3冊、読んでみる?』

酒井 順子【著】

書評集を読むと「これも面白そう」、「あれも読みたい」となって、膨大な「読みたい本リスト」ができてしまう。本書はテーマを決めてそれに沿った3冊の本をセレクトするという形式で、著者らしい多彩な本が全部で279冊、切れ味鋭く紹介されている。例えば、「転落は人を試す」というテーマでは『風と共に去りぬ』マーガレット・ミッチェル著、『宴のあと』三島由紀夫著、『アテネのタイモン』シェイクスピア著の3冊、そして「どん底まで落ちた時ほど、女の方が強い」と締められている。まだ読んでことがない本だったらきっと読んでみたくなること請け合い。月に3冊、とはいかなくても1冊でも読んでみる?(大塚)



新着ピックアップは毎月、司書が「これはぜひ読んで!」と思う本を選びすぐってお届けします。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。

「その本、もう読んだ」とか言ってみたい

藤崎一臣の本、読んでいこう！ vol.44

『君の名は。』

新海 誠【著】



11月の開館予定

原作小説を読んで⇒実写化された映画を観る経験はありましたが、今回、はじめて映画を観た後に⇒原作小説を読んでみました(^)/

原作小説を読んで⇒映画を観る場合は、キャスティングやストーリーの構成に注目しながら映画を観る楽しみがあります。それに、だいたいの実写化された映画は約2時間の上映時間に原作内容が収まらないことから、若干内容を変える（省略する）ことがあります。はたして、小説『君の名は。』は小説にしか描かれていないストーリーが存在するのか…そんな楽しみを今回は抱きつつ読み進めました。

5年前に上映された映画『君の名は。』は、日本歴代興行収入ランキング歴代5位となるほど大ヒットしたことは記憶に新しいかと思います。映画館で観て感涙した方も多いのではないのでしょうか。

いやぁ…あれから5年も経過するのか…時が経つのは早いですね…。

東京に憧れる田舎暮らしの三葉と東京の街で父と暮らす高校生の瀧。出会ったこともない2人がある日夢の中でお互いの身体が入れ替わっていることに気付く。「入れ替わってる(°▽°)」ってあの当時CMでよく見かけましたね。戸惑いながらもお互いの生活を体験する2人、しかし、三葉の住む町に隕石が直撃し、三葉が死亡していたことで入れ替わりが無くなったことが判明する。瀧は、三葉を救うためにもう一度入れ替わりを起こす行動に出る。三葉の運命を瀧は変えることが出来たのか…。そして、三葉と瀧は…。



結末を知ったうえで読んでも感動しますね。本当に良い作品です。青春万歳\(^o^)/ 肝心の小説と映画の違いですが、『君の名は。』の場合、小説がそっくりそのままアニメーション映画化されていました。残念ながら、小説にしか描かれていないストーリーはなかったです…ぐすん(ノ 口)・°・°。

あとがきを読んで知ったのですが…当初、小説版を出す予定はなかったようで、アニメーション映画を製作しながら小説版を出したそうです。そりゃあ映画と小説がまったく同じだわ(° 口°)！

| 11月  |            |
|------|------------|
| 1 月  | 休館/館内整理    |
| 2 火  | 8:10-17:50 |
| 3 水  | 休館         |
| 4 木  | 8:10-17:50 |
| 5 金  | 8:10-17:50 |
| 6 土  | 休館         |
| 7 日  | 休館         |
| 8 月  | 8:10-17:50 |
| 9 火  | 8:10-17:50 |
| 10 水 | 8:10-17:50 |
| 11 木 | 8:10-17:50 |
| 12 金 | 8:10-17:50 |
| 13 土 | 休館         |
| 14 日 | 休館         |
| 15 月 | 8:10-17:50 |
| 16 火 | 8:10-17:50 |
| 17 水 | 8:10-17:50 |
| 18 木 | 8:10-17:50 |
| 19 金 | 休館/館内整理    |
| 20 土 | 休館         |
| 21 日 | 休館         |
| 22 月 | 8:10-17:50 |
| 23 火 | 休館         |
| 24 水 | 8:10-17:50 |
| 25 木 | 8:10-18:50 |
| 26 金 | 8:10-18:50 |
| 27 土 | 休館         |
| 28 日 | 休館         |
| 29 月 | 8:10-18:50 |
| 30 火 | 8:10-18:50 |



第 42 回 富田 幸 先生おすすめ

『医学のたまご』海堂 尊 【著】

主人公は平凡？天才？少年。大学での医学を研究することになるが事件が発生し、勇敢に立ち向かう物語。「医学のたまご」は著者：海堂尊先生の作品に登場する主人公や登場人物がキーパーソンのように登場します。また、他の作品への伏線も多々見られます。「医学のたまご」は医療を志したい人、ミステリーが好き人、自分自身に悩みがある人いろいろな人に読んでもらいたい作品です。これを機に海堂尊先生の作品も読んでみて下さい。

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンはどなたに渡るかな？



# 完徹！我を忘れろ

眠れなくなるシリーズ



ゲームや漫画、ドラマの一気見、テスト前の一夜漬け。いろいろ完徹やってるけど、本に入り込んで気づいたら朝なんて経験はないでしょ。

これは経験した者にしか分からない快感？達成感？満足感？キミにも、このなんだか特別な感覚を味わってもらいたい。そう気になったらチャンスです。

“面白くて眠れなくなる～” や” 図解眠れなくなるほど面白い～” 等のシリーズを集めました。



Emc  
Navi

**予告**

来月のクリスマス企画は、いつになく力が入ってます。皆さんになにか参加してもらえる企画を考えています。

キーワードは、” 借りて、読んで、答えて、もらうおう！！ ”  
ちょっとしたプレゼントも考えていますので、来月号をお楽しみに～♪。



編集後記

寒さも本番になってきます。手袋、マフラー、ネックウォーマーなどを身に付けて、身体を冷やさないようにしたいですね。冬が旬の野菜や根菜などは、身体を温めると言われているそうです。体調管理に気を付けましょう。(大原)

冬、到来

